

日韓高校生による

# 「海洋環境保全啓発ポスター」

の共同制作について

<発表> 山口県立大津緑洋高等学校  
共同制作校: 中馬高等学校(韓国・光陽市)

# 共同制作校：中馬高等学校の紹介



【所在地】韓国・全羅南道 光陽市

【運営形態】公立      【学科】一般系(日本の普通科に相当)

【生徒数】609名

# 大津緑洋高校と中馬高校との相互交流の歴史

2025. 7. 10	中馬高校生徒と教員が来校
2024. 8. 22-8. 25	本校生徒と教員が中馬高校を訪問
2023. 12. 22	本校と中馬高校によるオンライン交流を実施
2022. 12. 26	本校と中馬高校によるオンライン交流を実施
2020. 12. 24	本校と中馬高校によるオンライン交流を実施
2019. 8. 23-8. 24	本校生徒と教員が中馬高校を訪問
2017. 7. 24-7. 25	中馬高校生徒と教員が来校
2015. 10. 21	本校教員が中馬高校を訪問
2015. 10. 16	中馬高校教員が来校
2014. 7. 17-7. 19	本校生徒と教員が中馬高校を訪問
2013. 10. 28	中馬高校生徒と教員が来校
2012. 10. 30	中馬高校生徒と教員が来校
2012. 6. 7-6. 9	本校生徒と教員が中馬高校を初訪問
2011. 10. 24	中馬高校生徒と教員が初来校

# 「海洋環境保全啓発ポスター」を共同制作するに至った背景

## 【出発点】

### • 2025年度

中馬高校(生徒26名)が大津緑洋高校を訪問

### • 中馬高校の交流テーマ

「環境」と「共存」

## 【共通課題の模索】

- 両国に共通する環境課題は何か？
- 高校生が“自分事”として発信できるテーマは何か？

# 「海洋環境保全啓発ポスター」を共同制作するに至った背景

## 【地域との接点】

- 両校が所在している自治体が、『日韓海峡海岸漂着ごみ一斉清掃事業』に参加
- 「**海洋ごみ問題**は、  
**国境を越えてつながる共通課題**」

## 【テーマ決定】

→ 「**海洋環境保全啓発ポスター**」  
の共同制作へ

# ポスターの共同制作の目的

## ① 海洋ごみ問題を“自分事”として捉える

- ・海洋ごみ問題の現状を知る
- ・自分たちの地域の課題として考える
- ・若い世代が主体的に発信する力を育む

## ② 日韓自治体連携のさらなる推進に 貢献する

- ・日韓高校生による共同制作ポスターを  
『日韓海峡海岸漂着ごみ一斉清掃事業』の  
啓発活動の一助として活用していただく

# 事前協働学習(オンライン)① 2025年5月28日(水)

- ・両校代表生徒による「海岸漂着ごみ・海洋汚染の実態と解決策」に関する発表
- ・両校混成の8グループによる意見交換・情報共有

## Group (5/28 Group Meeting)

INADA Kazuko 更新日時: 19:05 05/27/2025 1 1分

주제: 해안에 버려진 쓰레기 및 해양 오염의 현실과 해결책  
(테마: 海岸漂着ごみ・海洋汚染の実態と解決策)

### Group Number:

의견교환·정보공유 시간: 25분 (意見交換・情報共有時間: 25分)

논의한 내용을 「·」 다음에 입력합니다. (話した内容を「·」の続きに入力しましょう。)

【양국의 해안 표착 쓰레기·해양오염 현황】

【両国の海岸漂着ごみ・海洋汚染の現状】

< Korea >

< Japan >

【각국의 대처 사례】

【各国の取り組み事例】

< Korea >



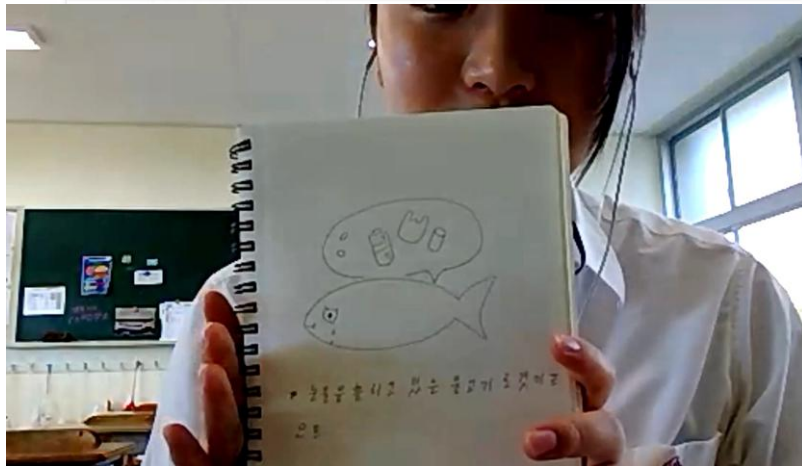
# 事前協働学習(オンライン)② 2025年7月2日(水)

- ・11のグループごとに、ポスターのデザイン案やキャッチコピー案を持ち寄り、アイデアを交換

今日のポスター試案を考えてみなければならないのですが、ポスターに使う文句を考えてみました！もし気に入ったりポスターに入れてほしい内容があったら教えてください！！ :)  
この内容はチャットで送ります！！

코요노 포스터아이안오 칸가에테 미나케레바 나라나노데스가 포스타이니 츠카우 문쿠오 칸가에테 미마시타 모시 키니잇타리 포스타이니 하이트호시이 나이요오가 앓타라 잇테쿠다사이 코노 나이요오와 차프토데 오쿠 리마스

번역 수정 | 번역 평가



빈 문서 1 - 호글

깨끗한 바다를 원한다면, 버려야 할 건 나의 습관이다.  
きれいな海を望むなら、捨てるのが私の習慣です。

파란 바다에 흘린 플라스틱은 나의 식수로 돌아온다.  
青い海にこぼれたプラスチックは、私の飲み水に戻ります。

쓰레기를 버리는건 한 순간이지만, 되돌아오는 피해는 오래간다.  
ゴミを捨てるのは一瞬ですが、戻ってくるダメージは長く続きます。

편한 선택이 만든 해양오염, 그 끝은 인류의 불편한 미래다.  
快適な選択によって生み出された海洋汚染は、その終わりが人類の不快な未来です。

우리가 버린 건 쓰레기지만, 잃는 건 생명이다.  
私たちが捨てたものはゴミですが、失ったものは命です。

카카오톡 2025. 중...

1/1쪽 1단 21줄 1칸 326/326글자

Zoom Meeting Participants:

- Ohtsu Ryokuyo HS Teacher INADA Kazuko
- group 10 / kim minhyeong
- Group 10 / Yuka
- group 10 / karin
- group 10 / kim dong hyun
- Group 10 / Lee Siwon

# 対面交流でのポスター制作

2025年7月10日(木)

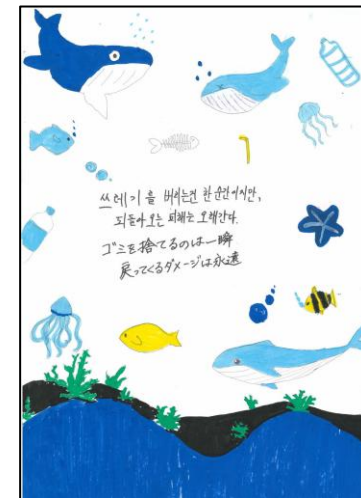
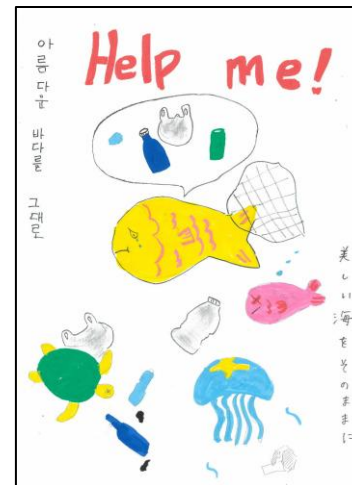
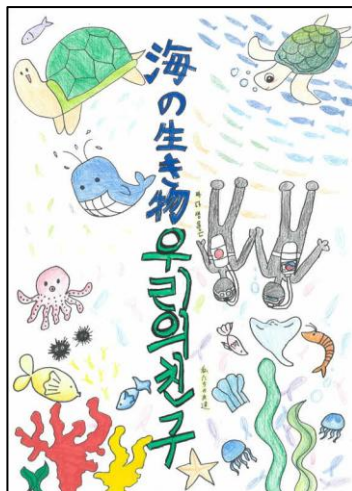
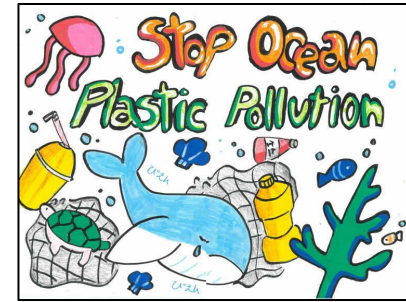


2回目の事前協働学習で話し合った内容を反映させて、あらかじめ準備してきた下絵を見ながら、両校の生徒が協力して約1時間でポスターを仕上げました。

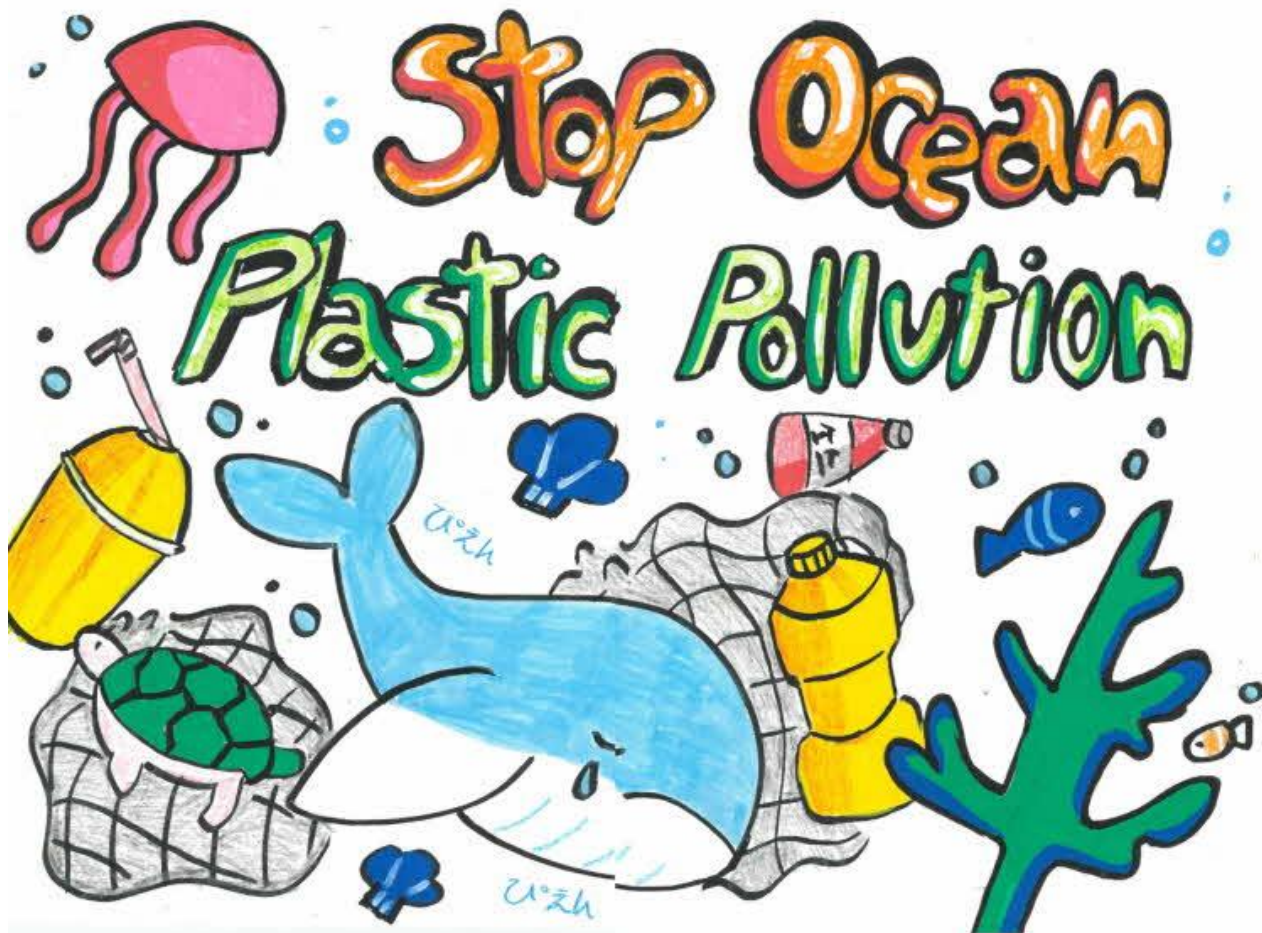


# 対面交流でのポスター制作

2025年7月10日(木)



# ポスター紹介 1



このキャッチコピーは、「海の生き物と人間の未来を守るため、海洋汚染を止める行動を今すぐ始めよう」という意思表示です。ポスター制作の中で、「見る人が一目で海洋汚染の深刻さを感じられる」ように工夫しました。

# ポスター紹介 2



このキャッチコピーにした理由は、「海をきれいに保つことによって、ゴミのない豊かな姿で次世代へつないでいきたい」という思いからです。同じ海でつながっている私たちは、「海と生き物たちを守りたい」という思いでこのポスターを作成しました。描いたことを未来に実現させるために、何ができるのかを考えて行動していきたいです。



# ポスター紹介 3



キャッチコピーは、日本語訳で「生き物を傷つける海洋ごみ」です。  
4人で海洋ごみが引き起こす問題について考えたとき、海に漂う漁網や釣り糸が海洋生物に絡まるという「ゴーストフィッシング」が上がったので、海洋ごみに苦しんでいる動物をテーマに、ポスターを制作しました。

# ポスター紹介4



「国を越えて海洋汚染に向き合う必要があることを多くの人に伝える」ため、キャッチコピーは、日本語と韓国語の双方で明記しています。制作を通して、相手の立場や視点を理解する力が深まりました。このポスターを通して、「海洋問題は、今ここで向き合うべき現実である」というメッセージを多くの人に伝えたいです。



# ポスター紹介5



「私たちは、海という自然の恩恵をただ受けるばかりではなく、その責任として、綺麗な海を守ろうとする約束を海に誓わなければならない」という思いが多くの人に伝わるように工夫しました。ポスターを作成する中で、言語が伝わらなくて戸惑う一面もありましたが、紙に映し出された表現やその考え方への共感によって活動が自然と進んだのを覚えています。





2025.7.10